

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	□	事業期間	昭和61年度 ～ 令和 8年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	541	焼津駅駐輪場維持管理費			
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	総務費・総務管理費・交通対策費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／自転車、原付バイクを放置せず、駐輪場に駐車できる				
事業概要 (168)	市営駐輪場（自転車駐車場）の管理・運営 その結果、焼津駅周辺に自転車を駐車できる。また放置自転車が減少する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	・ 指定管理者制度による管理・運営 【焼津駅北口駐輪場】 680台収容（約880㎡） 【焼津駅南口駐輪場】 601台収容（約654㎡） ・ 次期指定管理期間の事業者選定 ・ 放置自転車の撤去			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	13,183
	実績	0	0	13,179
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	13,183
	実績	0	0	13,179
	一般	0	0	0
人件費	計画	0	0	731
	実績	0	0	863
トータル コスト	計画	0	0	13,914
	実績	0	0	14,042

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
モニタリング回数	回		1	1	1	1	
		1	1	0			
	その他		100%	0%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
市営駐輪場自転車利用台数	台		295,000	295,000	295,000	295,000	
		292,983	306,122	308,794			
	増加目標		103.77%	104.68%			
市営駐輪場原付バイク利用台数	台		27,500	27,500	27,500	27,500	
		27,394	33,484	30,311			
	増加目標		121.76%	110.22%			

事後評価

実施結果 (748)	焼津駅北口駐輪場と焼津駅南口駐輪場の管理運営を実施した。 合計の使用料収入は前年度よりも約3%、655,220円の増であった。 ・北口駐輪場：年間利用台数 自転車 141,448台 原付 12,931台、使用料収入 8,483,120円 ・南口駐輪場：年間利用台数 自転車 167,346台 原付 17,380台、使用料収入 13,872,070円 ・合 計：年間利用台数 自転車 308,794台 原付 30,311台、使用料収入 22,355,190円
成果の 達成状況 と要因	成果指標①（達成）コロナ禍で減少後、自転車利用の増加が続いており、目標を達成した。 成果指標②（達成）昨年度より原付利用は利用台数は減少したものの目標を達成した。
課 題	民間駐輪場が減少しており、南口駐輪場の定期利用者がキャンセル待ちとなっている。 利用時間の延長を求める声があり、改善を検討していく。
今後の 方向性	通勤、通学、買い物など利用者が多いため、サービス向上に努め、今後も管理運営を継続していく。
所属長 意見(72)	指定管理者のノウハウを活かした利用改善を図り、今後も管理運営を継続する必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	平成17年度 ～
政 策	05 安全安心で快適に暮らせるまちづくり				
施 策	02 暮らしを守り支える社会基盤の充実				
基本事業	05 既存ストックの有効活用				
事務事業名	537 道路台帳整備費				
所 属	建設部 土木管理課				
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路橋りょう総務費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市内全域の認定路線/道路管理者に義務付けられた最新道路データを適切に管理する				
事業概要 (168)	道路法の規定に基づく、道路台帳整備。 認定路線、廃止路線、区域変更した路線について、道路台帳の補正を行い道路台帳管理システムに反映する。				
手段・ 実施内容等	令和5年度 前年度における、認定路線、廃止路線、工事等により区域変更した路線の資料をもとに、道路台帳補正業務委託を実施。補正された道路台帳を道路台帳管理システムに反映するとともに、市ホームページ及び課窓口にて閲覧の用に供する。				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	13,276
	実績	0	0	12,566
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	1
	一般	0	0	13,275
	財源	0	0	12,566
	人件費	0	0	1,016
	コスト	0	0	1,216
トータル		0	0	14,292
コスト		0	0	13,782

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
台帳整備路線数（当該年度補正した路線）	件	100	70	70	70	70	
		104	143	63			
	増加目標	104%	204.29%	90%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路台帳整備率（台帳整備路線数/市道認定全路線総数×100）	%	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	
		3.3	4.6	1.8			
	増加目標	122.22%	170.37%	66.67%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路法第28条の規定に基づき、前年度の道路整備等に伴い、道路形状（延長、幅員、新設、廃止等）に変化が生じたものについて、毎年度、道路台帳及び道路台帳図の補正を行っている。 ・令和5年度は、市内全域で1,000分の1の道路台帳図全図面205面のうち、42面の補正を行った。
成果の達成状況と要因	道路台帳の補正ができた。
課題	焼津市ホームページで公開している路線網図及び道路台帳図は、図郭ごとにPDFファイル及び画像ファイルで掲載しているが、利用者からは確認する場所の特定や図郭境にある道路の確認が困難で使いづらいため、静岡市、藤枝市等と同様にシームレスで閲覧できるよう要望が出ている。
今後の方向性	静岡市、藤枝市等と同様に道路管理システムのデータを活用したクラウド型でのホームページ公開する場合、インシャルコストや毎月の利用料が発生するが、実現できれば、路線番号、路線名、起終点の位置、幅員及び路線網図のほかに用途地域図や位置指定道路等の情報公開の活用に期待できるため、検討していく。
所属長意見(72)	窓口での問い合わせ件数の減少、事務軽減を図るため、WEB上での道路台帳図面の閲覧方法の更なる利用のしやすさなどの検討を進めること。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	05	既存ストックの有効活用			
事務事業名	547 道路維持費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路維持費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／道路を安全で安心して通行できるようにする				
事業概要 (168)	道路利用者の安全と円滑な通行を確保するとともに、道路という社会資本の保全を目的とした適切な維持管理を行うことにより、安全で安心して通行できる道路の確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 道路小規模修繕 道路維持補修工事 道路パトロール 等				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	175,821
	実績	0	0	167,238
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	11,000
	計画	0	0	9,900
	実績	0	0	63,350
	その他	0	0	0
	一般	0	0	101,471
	財源	0	0	157,338
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	10,808
トータル コスト	計画	0	0	175,821
	実績	0	0	178,046

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路パトロールの回数	回	187	180	180	180	180	
		187	174	178			
	その他	100	96.7	96.7			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
全体補修箇所等に対しパトロール等で発見し対応した割合	%	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	
		40.4	40.9	40.2			
	増加目標	121.32%	122.82%	120.72%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 小規模修繕775件、舗装補修工事 3 件、草刈り業務委託 1 件、街渠柵清掃業務委託 1 件を行った。 。
成果の達成状況と要因	成果指標①（達成） 道路パトロール等の実施により修繕箇所を発見し対応することで道路の安全な通行を確保することにより、目標を達成した。 成果指標②（達成） 計画的な業務委託や舗装補修工事を行うことで道路の安全な通行を確保することにより、目標を達成した。
課 題	・ 道路の老朽化に伴い維持管理費が今後、益々、増えていくことが予想されるため、その対応についての検討が必要となる。
今後の方向性	・ 維持管理に必要な予算確保とコスト縮減を図るなかで、道路の適切な維持管理をしていく。
所属長意見(72)	・ 道路の適切な維持管理のため、必要な予算確保とコスト縮減を意識した維持管理に努める必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	昭和43年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	05	既存ストックの有効活用			
事務事業名	538	道路施設管理費			
所 属	建設部		土木管理課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路維持費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	・ 道路施設/適正に管理されている。				
事業概要 (168)	・ 道路利用者が安全・安心に通行できるよう、道路照明灯及び地下道ポンプ施設の電気料金、地下道ポンプ異常通報及び地下道等の防犯に要する費用等を負担する。 ・ 道路占用の許可申請や道路工事の承認申請に対し、許認可を行う。 ・ 道路占用料の徴収を行う。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	・ 道路施設電気料金、上下水道料金、地下道のポンプ及び防犯通信料、地下道防犯委託料の支払い事務 ・ 道路占用の許可申請や道路工事の承認申請に対し、道路の構造の保全、交通規制方法、法令への適否等を審査し、必要に応じ指導を行い、許認可を行う。また、道路占用者より、道路占用料（道路橋梁使用料）を徴収する。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	15,095
	実績	0	0	14,910
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	計画	0	0	589
	実績	0	0	16,102
トータル コスト	計画	0	0	15,684
	実績	0	0	31,012

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路占用許可許可件数	件	900	900	900	900	900	
		932	814	741			
	増加目標	103.56%	90.44%	82.33%			
道路工事承認承認件数	件	120	120	120	120	120	
		116	107	128			
	増加目標	96.67%	89.17%	106.67%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路占用料徴収率	%	100	100	100	100	100	
		100	99.9	100			
	増加目標	100%	99.9%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路施設管理に係る道路施設の電気料、地下道防犯業務等の委託を行った。 ・道路占用の許可申請や道路工事の承認申請に対し、道路の構造の保全、交通の危険防止対策の有無、法令への適否等を審査し、必要に応じて指導を行い、許認可を行った。 ・道路占用者より、道路占用料（道路橋梁使用料）を徴収した。 ・令和5年度の道路占用許可件数は741件、道路工事承認件数は128件で、道路占用料の収入済額は63,231,985円であった。
成果の達成状況と要因	・道路の占用や工事承認の許可申請に対して、遅滞なく許認可を行うことができた。
課 題	増えていく既存占用物件の管理。
今後の方向性	今後も継続して取り組んでいく。
所属長意見(72)	各種申請書の審査及び決裁事務は、適切な期間内に処理すること。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	04	交通事故の起きにくい環境整備			
事務事業名	549 道路施設補修費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路維持費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／道路を安全で安心して通行できるようにする				
事業概要 (168)	道路を安全で安心して通行できるよう、転落防止柵や道路反射鏡などの修繕、区画線の設置、また地下道排水ポンプの保守点検など、適切に維持管理することで通行の安全を図る				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	道路施設補修 道路維持補修工事 地下道ポンプ施設の保守点検 (拡充) 区画線設置工			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	53,516
	実績	0	0	53,171
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	53,516
	実績	0	0	53,171
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	8,817
トータル コスト	計画	0	0	53,516
	実績	0	0	61,988

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路パトロールの回数	回	187	180	180	180	180	
		187	174	178			
	その他	100	96.7	96.7			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
全体補修箇所等に対しパトロール等で発見し対応した割合	%	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	
		40.4	40.9	40.2			
	増加目標	121.32%	122.82%	120.72%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路照明灯修繕17件、防護柵修繕6件、道路反射鏡修繕43件を行った。 ・地下道排水ポンプの保守点検業務1件を行った。 ・区画線設置33,457mを行った。
成果の達成状況と要因	成果指標①（達成）道路パトロール等により修繕箇所を発見し、対応することで道路の安全な通行を確保することにより、目標を達成した。
課題	・道路施設の老朽化に伴い維持管理費が今後、益々、増えていくことが予想されるため、その対応についての検討が必要となる。
今後の方向性	・維持管理に必要な予算確保とコスト縮減を図るなかで、道路の適切な維持管理をしていく。
所属長意見(72)	・道路の適切な維持管理のため、必要な予算確保とコスト縮減を意識した維持管理に努める必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	02	治水対策の整備			
事務事業名	567 水防管理費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・河川総務費				
施策が目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業対象/意図	水防従事者/適切な水防活動ができる				
事業概要 (168)	水害の頻発化、激甚化が懸念されており、「水防計画書」に基づく水防訓練等を実施し、水防従事者等の水防に対する意識の高揚と水防体制の強化を図る。また、排水ポンプ場や排水ポンプ車の維持管理を適切に実施し、稼働時の排水能力の維持を図る。				
手段・実施内容等	令和5年度	適切な水防活動の実施 （１）水防協議会の開催 （２）焼津市総合水防訓練の実施 （３）排水ポンプ場の維持管理 （４）排水ポンプ車の維持管理 （５）大井川水防センターの維持管理 （６）水防用資機材の購入 水防活動に対して、水防訓練や施設の適切な維持管理を行い、水防体制の強化を図ることで、安心して暮らせるまちづくりを目指す。 ≪拡充≫水防倉庫撤去			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	19,975
	実績	0	0	18,314
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	1
	計画	0	0	19,974
	実績	0	0	18,314
人件費	計画	0	0	19,420
	実績	0	0	11,507
トータルコスト	計画	0	0	39,395
	実績	0	0	29,821

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
水防協議会の開催回数	回	1	1	1	1	1	
		1	1	1			
	その他	100%	100%	100%			
総合水防訓練の開催回数	回	1	1	1	1	1	
		1	1	1			
	その他	100%	100%	100%			
水防倉庫撤去件数	件			1	3	0	
				1			
	増加目標			100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
適切な配備体制をとった回数	%	100	100	100	100	100	
		100	100	100			
	その他	100%	100%	100%			
水防倉庫撤去整備率	%						
	増加目標						

事後評価

実施結果 (748)	・焼津市総合水防訓練を実施した。 ・市内8箇所の排水ポンプ場の管理業務委託を実施した。 委託名 令和5年度 市内排水ポンプ場管理業務委託 履行箇所 浜当日地内ほか 委託概要 引上げ点検、動作確認等 委託料 4,125,000円 ・排水ポンプ車1台の操作点検業務委託を実施した。 ・小川新町排水ポンプ場の維持補修工事を実施した。 工事名 令和4年度 小川新町排水ポンプ場配管補修工事（債務負担） 履行箇所 小川新町地内 工事概要 配管補修 工事費 3,344,000円 ・大井川防災倉庫の撤去を実施した。
成果の達成状況と要因	成果指標①(達成) 水防協議会の開催1回の目標を達成した。 成果指標①(達成) 総合水防訓練の開催1回の目標を達成した。 成果指標①(達成) 水防倉庫撤去件数1件の目標を達成した。
課題	・焼津市総合水防訓練について、水害と土砂災害の訓練シナリオに水防演習の要素が入るため、一部シナリオが実態に合っていない。
今後の方向性	・焼津市総合水防訓練の訓練部分について、シナリオ等を一部見直す。
所属長意見(72)	引き続き、市民の方が確実に避難行動がとれるよう、水防法に基づく「水防訓練」を実施するとともに、出前講座などにより、防災意識の向上に努める。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	令和 5年度 ~
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	824 駐車場職員給与費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	駐車場事業特別会計				
科 目	駐車場事業費・駐車場事業費・駐車場事業費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／自転車、原付バイクを放置せず、駐輪場に駐車できる				
事業概要 (168)	市営駐車場の管理・運営 その結果、焼津駅周辺に駐車ができる。また駐車違反が減少する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	市営駐車場の管理・運営に係る担当職員の人件費 1 か月分			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	506
	実績	0	0	498
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	0
	一般	0	0	506
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	29
トータル コスト	計画	0	0	506
	実績	0	0	527

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率

事後評価

実施結果 (748)	焼津駅北口駐車場、小石川駐車場の運営を行い、担当職員の人件費を負担した。
成果の 達成状況 と要因	該当する成果指標は無い。
課 題	使用料収入が増加しており、今後は民間駐車場との棲み分けについて検討する必要がある。
今後の 方向性	駅周辺の整備の中で、市営駐車場のあり方について検討を進めていく。
所属長 意見(72)	使用料収入が増加し健全な経営を実施している。今後も周辺の民間駐車場の価格動向を確認し、運営方法を検討していく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	昭和46年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	825	駐車場事業費			
所 属	建設部	道路課			
会 計	駐車場事業特別会計				
科 目	駐車場事業費・駐車場事業費・駐車場事業費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／焼津駅周辺で適正に駐車できる				
事業概要 (168)	市営駐車場の管理・運営 その結果、焼津駅周辺に駐車ができる。また駐車違反が減少する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	・ 指定管理者制度による管理・運営 【焼津駅小石川駐車場】 62台収容（約1,630㎡） 【焼津駅南口駐輪場】 29台収容（491㎡） ・ 次期指定管理期間の事業者選定 ・ 周辺民間駐車場の価格動向調査			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	7,504
	実績	0	0	7,260
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	7,504
	一般 財源	0	0	7,260
	実績	0	0	7,260
人件費	計画	0	0	751
	実績	0	0	1,242
トータル コスト	計画	0	0	8,255
	実績	0	0	8,502

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
市営駐車場開設日数	日		365	366	365	365	
		365	365	366			
	その他		100%	100%			
モニタリング回数	回		1	1	1	1	
		1	1	0			
	その他		100%	0%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
市営駐車場利用台数	台／日		76	76	76	76	
		75.5	90.4	110			
	増加目標		118.95%	144.74%			
場内事故件数	件		0	0	0	0	
			0	0			
	0目標2		100.00%				

事後評価

実施結果 (748)	焼津駅北口駐車場及び小石川駐車場の管理運営を行った。 合計の使用料収入は前年度よりも25.9%、2,907,890円の増であり、収入の一部は一般会計へ繰出金として支出した。 ・北口駐車場：年間利用台数 17,094台、使用料収入 7,105,300円 ・小石川駐車場：年間利用台数 18,650台、使用料収入 7,012,110円 ・合 計：年間利用台数 35,744台、使用料収入 14,117,410円
成果の達成状況と要因	・成果指標①（達成） 上限料金設定後、利用者数が大きく増加しており、目標を達成した。 ・成果指標②（達成） 満車になることもあるが、場内事故は無く、目標を達成した。
課 題	使用料収入が増加しており、今後は民間駐車場との棲み分けについて検討する必要がある。
今後の方向性	駅周辺の整備の中で、市営駐車場のあり方について検討を進めていく。
所属長意見(72)	使用料収入が増加し健全な経営を実施している。今後も周辺の民間駐車場の価格動向を確認し、運営方法を検討していく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	918 養浜事業費				
所 属	建設部		大井川港管理事務所		
会 計	港湾事業特別会計				
科 目	事業費・事業費・港湾建設費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	駿河海岸（吉永海岸ほか）/海岸線の現状維持を図る。				
事業概要 (168)	国土交通省静岡河川事務所との覚書に基づき、大井川港南防波堤南側（飯淵海岸）に堆積した土砂を浸食傾向にある駿河海岸（吉永海岸ほか）に養浜（サンドバイパス）する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 1 国土交通省静岡河川事務所と協議を行う。 2 土砂排除工事 3 養浜工事				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	24,090
	実績	0	0	23,962
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	24,090
	実績	0	0	23,751
	一般	0	0	0
	財源	0	0	211
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	243
トータル コスト	計画	0	0	24,090
	実績	0	0	24,205

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
協議回数	回	3	3	3	3	3	
		3	3	3			
	その他	100	100	100			
養浜土量	㎡	15,600	5,320	15,600	15,600	15,600	
		0	6,164	5,400			
	増加目標	0%	115.86%	34.62%			
土砂排除量	㎡	65,000	30,000	65,000	65,000	65,000	
		68,111	30,162	30,161			
	増加目標	104.79%	100.54%	46.4%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
津波・高潮による海岸の被害件数	件		0	0	0	0	
			0	0			
	増加目標						

事後評価

実施結果 (748)	南防波堤南側に堆積した土砂を利用し、下手側の直轄海岸の保全に資するため、海岸保全区域の養浜を行った。 主な工事は下記のとおりである。 ・大井川港航路回り込み土砂排除工事 排除土量 V=30,000m3 9,317,000円 ・大井川港海岸養浜工事 養浜土量 V= 5,400m3 13,893,000円
成果の達成状況と要因	国の関係機関と調整し、適切な養浜土量、土砂排除量の工事を実施したため、津波・高潮による海岸の被害を無くすことができた。
課題	養浜土量、土砂排除量が、主に気象条件に左右されるため、現地状況の確認を適切に行うことが必要である。
今後の方向性	継続的に国の関係機関との調整、養浜事業を実施し、駿河海岸の保全、航路を維持していく。
所属長意見(72)	駿河海岸の海岸保全と港湾の維持の両方を考慮し、国との覚書を基に綿密な協議・調整を図り、計画的かつ効率的な養浜事業を継続的に実施する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	919	改修事業費			
所 属	建設部		大井川港管理事務所		
会 計	港湾事業特別会計				
科 目	事業費・事業費・港湾改修費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	大井川港港湾施設/船舶航行の安全を確保する。				
事業概要 (168)	安全で使いやすい港湾施設の機能の維持確保するために局所的な改良を行う。 1 大井川港航路（港口部）埋没対策				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	1 大井川港航路（港口部）埋没対策浚渫工事			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	600
	実績	0	0	173
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	600
	実績	0	0	173
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	682
トータル コスト	計画	0	0	600
	実績	0	0	855

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
航路維持浚渫量	m	36,000	30,000	30,000	30,000		
		47,758	51,273	37,603			
	増加目標	132.66%	170.91%	125.34%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
安全に航行できた船舶の割合	%	100	100	100	100		
		100	100	100			
	その他	100	100	100			

事後評価

実施結果 (748)	港湾施設の利便性・安全性を向上させるため、電気防食工事、航路の埋没対策浚渫等を行った。 ※本事業は令和4年度繰越工事の市単独費分である。
成果の 達成状況 と要因	浚渫工事を計画どおり実施したため、船舶が安全に航行できた。
課 題	航路の埋没は、主に気象条件に左右されるため、埋没状況を確認し国と調整しながら、浚渫の計画・工事が必要である。
今後の 方向性	国の交付金事業を活用し、継続的に浚渫工事を実施し、安全、安心な航路を維持していく。
所属長 意見(72)	安全で使いやすい港湾施設を維持するため、国の交付金事業を積極的に活用し、航路等の埋没対策を継続する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	6179 港湾施設改良（統合補助）事業費				
所 属	建設部		大井川港管理事務所		
会 計	港湾事業特別会計				
科 目	事業費・事業費・港湾改修費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	大井川港港湾施設/船舶護岸の安全を確保する。				
事業概要 (168)	安全で使いやすい港湾施設の機能の維持確保するために局所的な改良を行う。 1 大井川港内係留施設改良				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 1 大井川港内電気防食工事 2 大井川港内防舷材取付工事				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	601
トータル コスト	計画	0	0	0
	実績	0	0	601

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
電気防食防食工	m		100	160			
			103	160			
	増加目標		103%	100%			
防舷材取付工	基		6	4	9		
			4	4			
	増加目標		66.67%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
延命化された岸壁等の延長	m		100	160	0		
			103	160			
	増加目標		103%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	本事業は、事務事業9172港湾施設改良（統合補助）事業費（物価高克服経済対策）の令和4年度補正予算分である。
成果の達成状況と要因	岸壁の電気防食及び防舷材取替えを計画どおり実施したため、船舶が接岸する岸壁の延命化をすることができた。
課 題	港湾施設の老朽化等に伴い、多額の維持・修繕の費用がかかるため、適切な時期・場所を計画的に工事・修繕が必要である。
今後の方向性	国の港湾メンテナンス事業を活用し、継続的に岸壁の延命化を図り、港湾利用者が安全で使いやすい係留施設等の機能を維持していく。
所属長意見(72)	インフラの維持管理・更新等を計画的かつ着実に推進するため、港湾利用者などが安全に係留施設の利用が図れるよう、港湾メンテナンス事業を継続する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	準義務	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	920 海岸保全施設整備事業費				
所 属	建設部		大井川港管理事務所		
会 計	港湾事業特別会計				
科 目	事業費・事業費・海岸保全費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	大井川港の臨港地区/高潮・地震に伴う津波から人命・財産が守られる。				
事業概要 (168)	大井川港の津波対策施設の整備 1 大井川港胸壁整備 2 大井川海岸堤防改良（粘り強い化）				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 1 大井川港胸壁整備工事 2 大井川海岸堤防改良（粘り強い化）工事 3 《拡充》大井川港胸壁施工検討業務委託				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	4,700
	実績	0	0	2,406
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般	0	0	4,700
	財源	0	0	2,406
	人件費	0	0	0
	実績	0	0	7,539
トータル コスト	計画	0	0	4,700
	実績	0	0	9,945

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
海岸保全施設（胸壁整備延長）	m	30	35	10	110	290	
		34	35	18			
	増加目標	113.33%	100%	180%			
海岸保全施設（海岸堤防改良延長）	m		160	170	170	55	
			100	169			
	増加目標		62.5%	99.41%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
津波から守られる区域	h a	0.3	0.3	4.4	4.4	4.4	
		0.3	0.3	4.9			
	増加目標	100%	100%	111.36%			
津波から守られる人		6	6	159	159	159	
		6	6	177			
	増加目標	100%	100%	111.32%			

事後評価

実施結果 (748)	地震による津波や高潮から港湾背後地の人命、財産を守るための胸壁整備工事、海岸堤防改良工事に伴う事業を行った。 主な業務は下記のとおりである。 ・大井川港胸壁整備に伴う修正設計業務委託 2-2工区修正設計 1 式 1,199,000円
成果の達成状況と要因	津波・高潮対策の胸壁整備工事、海岸堤防改良工事の実施により、背後地の浸水区域を低減させ、人命・財産を守ることができた。
課 題	胸壁整備は、期間と多額の費用がかかるため、効率かつ効果的な計画・工事が必要である。
今後の方向性	国の交付金事業を活用し、背後地の浸水区域を低減させ、人命・財産を守りるために、早期完成に向けた胸壁整備の計画・工事を実施していく。
所属長意見(72)	高潮・地震に伴う津波から、背後地の人命・財産を守るため、国の交付金制度を積極的に活用し、津波・高潮対策施設の早期完成を目指していく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	昭和61年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	04	交通事故の起きにくい環境整備			
事務事業名	146 放置自転車対策費				
所 属	市民環境部		くらし安全課		
会 計	一般会計				
科 目	総務費・総務管理費・交通対策費				
施策が 目指す姿	交通安全への意識が高まっている				
事務事業 対象/意図	市民/自転車等放置整理区域に自転車や原付バイクを放置しない。				
事業概要 (168)	駅周辺の放置自転車対策として、都市の景観や良好な生活環境の保持と事故や災害時に支障となる放置自転車の排除を目的に、昭和61年度より焼津駅周辺、平成6年度より西焼津駅周辺に自転車等放置整理区域を定め、警告・撤去・返還・リサイクルを行う。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	焼津駅及び西焼津駅周辺の自転車等放置整理区域内での放置自転車等について、巡視指導（警告） ・撤去・返還・リサイクルを行う。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	4,062
	実績	0	0	4,023
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	4,062
	実績	0	0	4,023
	一般	0	0	0
	財源	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	7,780
トータル コスト	計画	0	0	4,062
	実績	0	0	11,803

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
警告件数	件	2,300	2,300	2,300	2,300		
		3,099	2,941	2,276			
	その他	74.21%	78.20%	101.05%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
撤去台数	%	170	170	170	170	170	
		120	200	199			
	その他	141.66%	85%	85.42%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 駅周辺の放置自転車対策として、巡視活動による警告と放置自転車の撤去を実施して放置自転車の解消に努めた。 ・ 警告 2,276台 ・ 撤去 199台
成果の達成状況と要因	撤去台数については、199台で昨年と比較して1台の減少となったものの目標には達しなかった。西焼津駅前の短時間（30分）駐車スペースへの放置が多くなっており、看板等で啓発を行っているが減少しない。
課 題	・ 西焼津駅前の短時間（30分）無料駐車スペースの廃止した場合の対応 ・ 道路課が所管する駐輪場管理運営業務において、開設時間を延長した場合の民間駐輪場への圧迫
今後の方向性	引き続き放置整理区域内での巡視・撤去を継続し、放置自転車の減少に繋げる。また、撤去実施の曜日を一定にせず行うことにより、撤去を逃れることのないよう検討していく。
所属長 意見(72)	警告件数は、前年度と比較して減少している。今後も引き続き、放置自転車等の減少に向けて、対策に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	□	事業期間	平成11年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	542 自主運行バス運営事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	総務費・総務管理費・交通対策費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／自主運行バスを利用しやすくなる				
事業概要 (168)	廃止路線バスの代替として市民の通院や買物、通勤や通学などの身近な移動手段を確保するため、自主運行バスを運行するとともに、公共交通のあり方など地域公共交通会議等で協議をし、地域公共交通計画を推進する。 その結果、市民の交通利便性が向上し、公共交通網の充実が図られる。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	・ 自主運行バスの運営 【焼津循環線】焼津駅を中心に公共施設や市立総合病院等を循環運行。 【大井川焼津線】大井川庁舎から大井川東部地域を通り、市立総合病院を経由し、焼津駅まで運行 ・ 地域公共交通会議、大井川分科会の開催 ・ 大井川焼津線の運行内容の検討			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	149,433
	実績	0	0	147,972
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	15,720
	支出金	0	0	18,953
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	131,832
	実績	0	0	117,040
	一般	0	0	1,881
	財源	0	0	11,979
人件費	計画	0	0	13,042
	実績	0	0	8,604
トータル コスト	計画	0	0	162,475
	実績	0	0	156,576

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
運行便数	便		10,728	10,728	10,728	10,728	
		13,157	10,737	10,728			
	その他		100.01%	100%			
利用促進事業	回	3	6	20	20	20	
			10	23			
	増加目標		166.67%	115%			
公共交通会議等の開催	回		6	7	7	7	
			6	8			
	その他		100.00%	114%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
自主運行バス利用者数	人		109,000	110,000	111,000	112,000	
		107,915	104,492	115,737			
	増加目標		95.86%	105.22%			

事後評価

実施結果 (748)	自主運行バス2路線を運行し、8月には大井川焼津線のダイヤ改正し、焼津駅までの到着時間を短縮する利便性の向上を図った。また、地域公共交通会議を5回、大井川分科会を3回開催し、運行内容や焼津市地域公共交通計画案について協議を行った。利用促進策として、バスに乗って市内を巡る「地域再発見の旅」を22回実施し、バス利用の呼びかけを行った。 事業費は1,497,971,719円（自主運行バス委託費144,661,000円、藤枝市自主運行バス「駅南循環善左衛門線」乗入れ負担金1,701,251円、その他経費1,609,468円）であった。 ・焼津循環線：年間利用者数 99,508人、運賃収入 16,842,870円 ・大井川焼津線：年間利用者数 16,229人、運賃収入 3,038,333円 ・合計：年間利用者数 115,737人、運賃収入 19,881,203円
成果の達成状況と要因	成果指標①（達成） 徐々に外出機会が増加しており、利用促進策を積極的に行ったことから、目標を達成した。
課題	利用者数がコロナ禍前の令和元年度の水準まで回復していない。
今後の方向性	自動車を持たない市民の移動を担うため、今後も運行を継続する必要がある。持続可能な公共交通に向けて、積極的に利用促進策を行っていく。
所属長意見(72)	今後も市民生活の移動手段の確保のため、運行を維持するとともに、利便性の向上と運行の効率化を図る必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	□	事業期間	令和 5年度 ~
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	543 デマンドタクシー運営事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	総務費・総務管理費・交通対策費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／デマンドタクシーを利用しやすくなる				
事業概要 (168)	廃止路線バスの代替として市民の通院や買物、通勤や通学などの身近な移動手段を確保するため、デマンドタクシーを運行するとともに、公共交通のあり方など地域公共交通会議等で協議をし、地域公共交通計画を推進する。 その結果、市民の交通利便性が向上し、公共交通網の充実が図られる。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	・デマンドタクシーの運営 【焼津インター周辺地域】越後島・大覚寺地区から、焼津駅等の目的施設へのデマンド運行 【大井川地区】大井川地区全体をデマンド運行し、あわせて路線バスとの乗り継ぎを図る 【大島・三和地区】大島・三和地区から、市立総合病院へのデマンド運行 ・地域公共交通会議、大井川分科会の開催 ・運行内容の検討			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	32,542
	実績	0	0	32,461
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	32,542
	計画	0	0	32,285
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	395
	実績	0	0	2,937
トータル コスト	計画	0	0	32,937
	実績	0	0	35,398

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
運行便数	便		1,400	1,400	1,400	1,400	
		310	1,743	2,086			
	増加目標		124.5%	149%			
周知活動	回		12	20	20	20	
		2	30	18			
	その他		250.00%	90%			
公共交通会議等の開催	回		6	7	7	7	
			6	8			
	その他		100.00%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
デマンドタクシー登録者数	人		3,000	3,100	3,200	3,300	
		304	1,071	1,266			
	増加目標		35.7%	40.84%			
デマンドタクシー利用者数	人		4,000	4,500	5,000	5,500	
		348	2,470	3,384			
	増加目標		61.75%	75.2%			

事後評価

実施結果 (748)	3地区でデマンドタクシーを運行した（運行委託費32,285,785円）。利用促進策として、地域の会合における出前講座を15回、公募で決定したキャラクターデザインの活用、作成した動画配信など周知活動を実施した。大井川地区及び大島・三和地区は、次年度からの本格運行を決定した。 ・大井川地区：年間利用者数 2,609人、運賃収入 469,500円 ・焼津IC周辺地域：年間利用者数 520人、運賃収入 182,800円 ・大島・三和地区：年間利用者数 255人、運賃収入 76,500円 ・合計：年間利用者数 3,384人、運賃収入 728,800円
成果の達成状況と要因	・成果指標①（未達成） 出前講座の実施により登録者数は着実に伸びているが目標には達しなかった。 ・成果指標②（未達成） 利用者数は前年より大きく増加したが、目標には達しなかった。
課題	本格運行以後も、利用者拡大に向け、出前講座や体験乗車を積極的に実施し、地域へ周知を図る必要がある。
今後の方向性	停留所の新設やバスとの乗り継ぎダイヤの考慮など、改善策を実施していく。また、その他の地域においても、利用需要に合わせた運行を検討していく。
所属長意見(72)	引き続き利用促進のため、周知活動及び改善策の実施により、利便性の向上を図る必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成11年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	06	公共交通網の利便性向上			
事務事業名	544 バス路線維持特別対策事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	総務費・総務管理費・交通対策費				
施策が目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業対象/意図	市民／路線バスを生活に必要な移動手段として利用できる 路線バス事業者／バス路線を維持することができる				
事業概要 (168)	市内を運行するバス路線について、欠損額を補助金としてバス事業者に交付する。 その結果、運行事業者はバス路線を維持することができ、通院や買い物など市民にとって生活に必要な活移動手段を確保することができる。				
手段・実施内容等	令和5年度	・ 事業者単独では継続が困難である旨の申し出のあった路線に対する補助の実施 【焼津市地域間幹線系統確保維持費補助金】 広域的に運行する地域間幹線系統 【焼津市路線バス維持特別対策事業費補助金】 地域間幹線系統以外の主に市内を運行する路線で、利益が生じていない系統 ・ 路線バス事業者と連携し収支改善、利用促進を図る。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	109,623
	実績	0	0	103,258
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	109,623
	実績	0	0	103,257
	その他	0	0	0
人件費	計画	0	0	790
	実績	0	0	1,246
トータルコスト	計画	0	0	110,413
	実績	0	0	104,504

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
補助路線数	路線		6	6	6	6	
		5	6	6			
	その他		100%	100%			
補助路線の運行距離	km		990,000	990,000	990,000	990,000	
		798,605	980,395.7	999,990			
	その他		99.0%	89.3%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
市内民間バス路線数	路線		6	6	6	6	
		6	6	6			
	その他		100%	100%			
路線バス利用者数	人		990,000	999,000	999,000	999,000	
		997,689	999,999	999,999			
	増加目標		101.01%	100.1%			

事後評価

実施結果 (748)	市内を運行する民間路線バスを維持するため、6路線（一色和田浜線・焼津岡部線・五十海大住線・藤枝吉永線・藤枝相良線・焼津大島線）について、運行事業者への補助（103,257,034円）を実施した。また、自主運行バスとあわせて、利用促進策として「地域再発見の旅」を開催した。
成果の達成状況と要因	成果指標①（達成） 路線を全て維持することができた。 成果指標②（達成） 外出機会が増え、利用者数は回復傾向にあり目標を達成した。
課題	バス利用者はコロナ過前の水準まで回復していない一方で、燃料費や人件費など運行経費が増大している。
今後の方向性	事業者と連携して利用促進に取り組むとともに、補助額が増大する路線について、運行内容を検討していく必要がある。
所属長意見(72)	市内の拠点を結ぶ路線や広域的な路線であるため、今後も利用促進に努め、維持確保を図っていく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	240 災害見舞経費				
所 属	健康福祉部		地域福祉課		
会 計	一般会計				
科 目	民生費・災害救助費・災害救助費				
施策が 目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	火災等罹災者／罹災世帯の一時的な生活援助				
事業概要 (168)	暴風・豪雨・洪水・地震等異常な自然現象及び火災により罹災した市民に対し災害見舞金及び日赤の災害救援品を支給する。 火災により死亡 20,000円、全焼・全壊・流失 50,000円、半焼・半壊 30,000円 火災による水損、10,000円 床上浸水 10,000円				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	火災等による罹災者に対し、見舞金及び日赤の災害救援品を支給する。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	491
	実績	0	0	300
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	実績	0	0	0
	一般	0	0	491
	財源	0	0	300
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	87
トータル コスト	計画	0	0	491
	実績	0	0	387

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
災害見舞金を受給した世帯数	件	15	15	15	15	15	
		5	167	4			
	その他	33.3%	1113.3%	26.7%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
災害見舞金を受給した世帯の割合	%	100	100	100	100	100	
		100	100	100			
	その他	100%	100%	100%			
災害救援品を受給した世帯の割合	%	100	100	100	100	100	
		100	100	100			
	その他	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	火災により全焼した世帯（4世帯）に対して、災害見舞金及び災害救援品を支給した。
成果の達成状況と要因	支給対象者すべてに支給した。
課 題	なし
今後の方向性	引き続き、適切な支給に取り組んでいく。
所属長意見(72)	支給対象者すべてに適正に支給している。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	昭和26年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	431 県費補助治山整備事業費				
所 属	経済部		農政課		
会 計	一般会計				
科 目	農林水産業費・農業費・林業費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	海岸の保安林（小川港から大井川港）/海岸の保安林環境の保全が図られる。 潮害等を受ける恐れのある市民（小川港から大井川港）/潮害等から市民の生命・財産を守る。				
事業概要 (168)	人家・農地・公共施設等への災害を防止や、水源涵養・環境保全を図るため、楽生防止、山腹崩壊等に対して保安施設の整備や健全な保安林環境を保全する。				
手段・ 実施内容等	令和5年度 保安林育成工（除伐工V=6.3m3）				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	1,500
	実績	0	0	1,500
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	900
	支出金	0	0	900
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	600
	実績	0	0	600
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	174
トータル コスト	計画	0	0	1,500
	実績	0	0	1,674

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
海岸保安林の育成（除伐等）	㎡	9.4	6.5	6.3	6.8	6.8	
		10.3	7	8.5			
	その他	109.6%	107.7%	134.9%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
潮害等の発生箇所数	箇所	0	0	0	0	0	
		0	0	0			
	その他	100%	100%	100%			
潮害等により被害を受けた市民	人	0	0	0	0	0	
		0	0	0			
	その他	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	藤守地区他の保安林の維持保全のため間伐等を実施した。
成果の 達成状況 と要因	海岸防災林（藤守地区などの保安林）の松の間伐や枝払を実施することにより維持保全が図られ、目標である潮害等が発生していない。
課 題	海岸防災林を守り育てていくため、海岸防災林協働管理計画書を策定し、地元住民と市と県が相互に連携を図り、協働して維持保全していくことになっているが、樹木の生長により木が混み合い、間伐等を行い、健全な森林に保つ必要がある。
今後の 方向性	海岸防災林共同管理計画に基づき、地元住民と協働して海岸防災林の保全に努める。
所属長 意見(72)	治山事業を活用し、計画的に海岸防災林の維持保全に努め、潮害等の発生を防止する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成30年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	05	既存ストックの有効活用			
事務事業名	534 土木共通事務費				
所 属	建設部		土木管理課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・土木管理費・土木総務費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	道路・河川占用許可等/情報が適正に管理される。 道路管理瑕疵による損害賠償/保険適用の有無を適正に処理。				
事業概要 (168)	道路・河川占用管理システムソフト保守料に要する経費 道路賠償責任保険料等に要する経費				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	道路・河川占用管理システムソフト保守料の支払い事務 道路・河川占用管理システムバージョンアップリース料の支払い事務 道路賠償責任保険料の支払い事務			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	1,717
	実績	0	0	1,714
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	32
	支出金	0	0	33
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	1,685
	実績	0	0	1,681
人件費	計画	0	0	395
	実績	0	0	5,472
トータル コスト	計画	0	0	2,112
	実績	0	0	7,186

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路瑕疵相談件数	件	10	10	10	10	10	
		11	4	6			
	その他	110.00%	40.00%	60.00%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
保険で支払った金額／掛金	千円	847	847	848			
		468	932	1,794			
	増加目標	55.25%	110.04%	211.56%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路・河川占用業務に使用する管理システムの可用性を保つため、保守料やリース料を支払った。 ・道路瑕疵による事故の賠償に備えて、道路賠償責任保険料を負担し、事故の相談があった場合には適切に対応した。
成果の達成状況と要因	・道路・河川占用管理システムは、滞りなく使用できた。 ・事故の相談には適切に対応できた。
課 題	耐用年数ごとの管理システムの更新。
今後の方向性	今後も継続して取り組んでいく。
所属長意見(72)	道路・河川占用管理システムは、適切に保守を行うこと。事故の相談は、施設管理者の道路課と連携を図ること。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成10年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	05	既存ストックの有効活用			
事務事業名	535 地形図修正整備費				
所 属	建設部		土木管理課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・土木管理費・土木総務費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民/最新の地形図を庁内だけでなく、他の利用者也利用できるようになる				
事業概要 (168)	地形の経年変化に伴い、地形図の修正を行い、現況との整合を図る				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	焼津市全体で42面の図郭に分けた2,500分の1の地形図を、現況に整合させるため、地形図修正業務委託を実施。 航空写真をもとに、地形図に対し地形及び地物の経年変化を反映させる。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	2,402
	実績	0	0	2,141
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	47
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	2,355
	実績	0	0	2,141
トータル コスト	計画	0	0	1,253
	実績	0	0	315
トータル コスト	計画	0	0	3,655
	実績	0	0	2,456

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
データ貸し出し件数	面	4	2	3	3	3	
		4	2	3			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
ホームページのアクセス件数	件	100	100	100	100	100	
		100	100	100			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 焼津市全体で42面の図郭に分けた2, 500分の 1 の地形図を、現況に整合させるため、計画的に修正を行っている。 ・ 平成31年度より 9 年かけて全42面を修正する計画で、令和 5 年度は 1 面の修正を行った。
成果の 達成状況 と要因	地籍図のデータ貸し出し申請に対応できた。
課 題	他の事業よりも優先度が低い事業と査定され、計画の遂行が難しくなっている。
今後の 方向性	現況に整合している地形図が必要であるとの理解を求めていく。
所属長 意見 (72)	公共事業及び民間開発などにより修正となるものであり、庁内関係課と連携を図ること。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成23年度 ～ 令和30年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	536 地籍調査事業費				
所 属	建設部		土木管理課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・土木管理費・地籍調査費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	調査対象の土地／調査地区内の土地境界及び権利関係の明確化が図れる。				
事業概要 (168)	国土調査法に基づき、公有水面等を除いた各筆の境界・地積・所有者等を調査、地籍図と地籍簿を作成し、所有者の同意・県の検査・国の認証を得た後、法務局への送込みを行う。本市では調査作業を4つの工程に分け、一つの地域を4年間かけて調査を実施中。また、情報交換や職員の知識向上のため地籍調査にかかる協議会（国・東海・県・志穂）の研修に参加する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	【1年目工程対象地区】 駅北3丁目他（0.28km ² ） 調査図素図作成、石脇下他（0.30km ² ） 地籍図根三角測量 【2年目工程対象地区】 岡当目他（0.50km ² ） 一筆地調査（現地調査）、一筆地測量 【3年目工程対象地区】 浜当目1丁目他（0.40km ² ） 地籍図原図作成、地積測定 【4年目工程対象地区】 焼津2丁目他（0.65km ² ） 閲覧及び地籍図案等の修正 【過年度調査地区】 平成28年度から令和1年度（3.48km ² ）の一筆地調査実施地区に係る問題点解消等			

事業費内訳

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	69,101
	実績	0	0	68,956
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	51,000
	支出金	0	0	50,945
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	18,101
	一般財源	0	0	18,011
	実績	0	0	18,011
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	49,061
トータル コスト	計画	0	0	69,101
	実績	0	0	118,017

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度現地調査面積（2年目工程の一筆地調査面積）	km ²	0.7	0.4	0.5	0.5	0.5	
		0.7	0.4	0.5			
	その他	100%	100%	100%			
地籍協議会の研修参加回数（国、東海ブロック、県、志保）	回	4	4	4	4	4	
		4	4	4			
	その他	100%	100%	100%			
現地立会率（一筆地調査での土地所有者の立会参加率）	%	100	100	100	100	100	
		99.9	99.9	99.1			
	その他	99.9%	93.7%	99.1%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
一筆地調査人数（2年目工程の一筆地調査対象者数）	人	2,433	1,241	1,085	1,495	1,995	
		2,433	1,241	1,085			
	その他	100%	100%	100%			
地籍調査事業の進捗率（4年目工程終了/調査対象面積）	%	49.3	50.4	51.4	52	52.8	
		49.3	50.4	51.4			
	増加目標	100%	100%	100%			
津波浸水想定区域の進捗率（4年目工程終了/津波浸水想定面積）	%	82.2	87.3	91.2	92.8	94.4	
		82.2	87.3	91.2			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・石脇下他（0.30km²）の地籍図根三角測量を実施した。 ・駅北3丁目他（0.25km²）、小浜（0.03km²）の調査図素図を作成した。 ・岡当日他（0.50km²）の一筆地調査（現地調査）及び一筆地測量を実施した。 ・浜当日1丁目他（0.40km²）の地籍図原図作成、地積測定を実施した。 ・焼津2丁目他（0.65km²）の閲覧及び地籍図案等の修正を実施した。 ・平成28年度、令和1年度及び令和2年度一筆地調査実施地区の田尻北他（1.14km²）について登記が完了した。 ・平成28年度、令和1年度及び令和2年度一筆地調査実施地区の栄町6丁目他（0.76km²）について認証請求を実施した。 ・平成29年度及び平成30年度一筆地調査実施地区の駅北4丁目他（1.99km²）の問題点解消処理を実施した。 【以下、主な支出】 ・地籍調査業務委託（その1）：一筆地調査他 36,740,000円 ・地籍調査業務委託（その2）：地籍図原図作成他 18,480,000円 ・地籍調査電子ファイリング業務委託：焼津2丁目他の画像データベース作成等 1,919,500円 ・地籍調査システム素図レイヤ作成業務委託：浜当日1丁目他の重ね合わせ図作成等 499,400円
成果の達成状況と要因	・一筆地調査対象者数は、目標を達成した。 ・地籍調査事業の進捗率は、目標を達成した。 ・津波浸水想定区域の進捗率は、目標を達成した。
課題	・優先すべき地籍調査地区の選定。 ・境界決定が進まない場合は筆界未定にできるが、土地所有者にデメリットが生じる。また、それを理由に調査期間が長期におよび、計画どおりに事業を進められない。 ・過年度調査地区の問題点が膨大かつ深刻なものが多く、問題点解消に多大な時間が掛かる。
今後の方向性	・津波浸水想定区域に近い地区及び緊急輸送路がある地区を優先的に地籍調査を進める。また、国土調査法第19条5項指定による調査区域の拡大も視野に入れる。 ・土地所有者との話し合いを続けたうえで計画に遅延が生じる場合は、筆界未定として処理する。
所属長意見(72)	各工程におけるスケジュール管理を的確に行うこと。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	552 期成同盟会・各種協議会参画事業費				
所 属	建設部 道路課				
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	国、県、その他関係機関／会員（期成同盟会）が国に理解を得るため要望活動を行う。 道路担当職員／専門知識の蓄積を図る。				
事業概要 (168)	市町を結ぶ広域道路の交通渋滞の解消や地域経済活動の活性化を図るために、早期の整備が必要となることから、関係市町等が連携して道路整備促進の道路財源確保等を国や県に求めていくため、関係する期成同盟会・各種協議会に参画する。また、期成同盟会・各種協議会が企画・主催する研修会や現場視察等に参加し、道路事業に関する専門知識の向上を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	期成同盟会・各種協議会への参画 （１）国土交通省、県、国会議員、県議会議員等への要望活動（陳情、請願） （２）総会への出席 （３）道路講習会、研修会への参加			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	1,266
	実績	0	0	1,288
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	986
トータルコスト	計画	0	0	1,266
	実績	0	0	2,274

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
総会、幹事会への参加回数	回	18	18	18			
		18	18	18			
	その他	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
要望箇所数	箇所	3	3	3			
		3	3	3			
	その他	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・各種期成同盟会・協議会（10団体）の活動（会議・総会等）に参画し、国や県への要望活動を行った。 ・各種期成同盟会・協議会が開催する研修会に3回参加した。
成果の達成状況と要因	・成果指標①（達成） 関係市町と連携し、国や県への要望活動を行い、目標を達成した。
課 題	・各種期成同盟会・協議会に参画し、関係市町と連携を図り、広域道路の整備促進を図る必要がある。 ・職員を積極的に研修会等に参加させ、技術力の向上を図る必要がある。
今後の方向性	・今後も継続して各種期成同盟会・協議会に参画し、関係市町と連携を図り、広域道路の整備促進に取り組んでいく。 ・今後も継続して職員を研修会等に参加させ、技術力の向上と技術の継承に取り組んでいく。
所属長意見(72)	関係市町と連携により広域道路の整備促進を図るとともに職員の技術力向上を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成28年度 ～ 令和10年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	553 0218号線道路改良事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／円滑な移動が可能になる。 0218号線／道路が整備される。				
事業概要 (168)	上小杉地内の市道0218号線は、通学路に指定されておりますが現道は歩車分離されておらず、かつ通行幅員も4mと狭小であるため、道路改良整備を行い、通学児童等の歩行者・自転車の安全確保とともに、災害時の広域避難地への避難路の機能確保を図る。				
手段・ 実施 内容等	令和 5年度 道路整備に係る用地取得及び工事 (1) 道路工事 (2) 用地買収 (3) 物件補償				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	50,400
	実績	0	0	49,881
財源内訳	国庫	0	0	35,280
	支出金	0	0	34,915
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	15,120
	実績	0	0	14,966
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	2,517
トータルコスト	計画	0	0	50,400
	実績	0	0	52,398

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事発注件数	件		1	1	1	1	
			1	1			
	増加目標		100%	100%			
用地取得件数	件	2	0	2			
		2	0	2			
	増加目標	100%		100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路整備率	%		10.8	33.3	50	66.7	
			10.8	39.7			
	増加目標		100%	119.22%			
用地取得率	%	87.5	92.9	100			
		87.5	92.9	100			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路改良工事（175m）、用地買収（2件）、物件補償（1件）を行った。
成果の 達成状況 と要因	・成果指標①（達成） 入札差金を活用し、工事施工延長を伸ばすことができ、目標を達成した。 ・成果指標②（達成） 地権者と事前調整を行ったことで用地買収に応じていただき、目標を達成できた。
課 題	・防衛省と協議し、継続して予算を確保する必要がある。 ・工事施工にあたっては、十分に地元調整を行う必要がある。
今後の 方向性	・今後も継続して防衛省と協議し、必要な資料を提出し、予算確保に取り組んでいく。 ・今後も工事着手前に地元に説明を行うなど地元調整に取り組んでいく。
所属長 意見(72)	工事完了に向けて、引き続き、防衛省及び地元と協議・調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成30年度 ～ 令和10年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	554 越後島元大橋線ほか道路改良事業費（社交金）				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能になる。 焼津広幡線周辺道路／道路が整備され迂回路が確保される。				
事業概要 (168)	県施行の（都）焼津広幡線の4車線化整備事業の周辺市道については、幅員が約4mと狭く大型車両のすれ違いが困難な状況であるため、県事業と一体的に狭小な周辺市道の拡幅整備等を行い、沿線事業所などへの交通の円滑化と安全確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和5年度 道路改良に係る用地取得及び工事 （1）実施設計 （2）用地買収 （3）物件補償				

事業費内訳

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	40,700
	実績	0	0	41,192
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	40,700
	支出金	0	0	41,192
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	実績	0	0	0
	一般財源	0	0	0
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	2,549
トータルコスト	計画	0	0	40,700
	実績	0	0	43,741

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事等発注件数	件	1	1	1			
		1	1	1			
	増加目標	100%	100%	100%			
用地取得件数	件		2	3			
			0	2			
	増加目標		0%	66.67%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路整備率	%	30	40	40			
		30	40	40			
	増加目標	100%	100%	100%			
用地取得率	%	5.3	15.8	21.1			
		5.3	0	15.8			
	増加目標	100%	0%	74.88%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路整備に係る設計業務（1件）、用地取得（2件）、物件補償（2件）を行った。
成果の 達成状況 と要因	・成果指標①（達成） 工事施工はないため道路整備率の伸びはないが、工事に向けた設計業務を実施し目標を達成した。 ・成果指標②（未達成） 3地権者と交渉を行い2件の用地買収を行ったが、1件は応じてもらえず、未達成となった。
課 題	・地権者と信頼関係を構築し、速やかに用地買収に応じてもらう必要がある。 ・工事施工にあたっては、県と連携し地元と十分に事前調整を行う必要がある。
今後の 方向性	・今後も継続して事業に関する地元説明会を県と合同で開催するなど、地権者と事前調整を行うよう取り組んでいく。
所属長 意見(72)	工事完了に向けて、引き続き、県及び地元と協議・調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成27年度 ～ 令和 8年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	6165 市道舗装改良事業費（社交金）				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能になる。 舗装整備路線／舗装路面が整備される。				
事業概要 (168)	道路改良から20年以上が経過し、路面にひび割れ、わだち掘れ及びたわみ等が発生するなど老朽化が著しい路線について、舗装改良を行ない通行の安全確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 舗装改良工事（0103号線）				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	276
トータル コスト	計画	0	0	0
	実績	0	0	276

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事発注件数	件	1	1	1			
		1	1	1			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
舗装率	%	48.9	50.8	73.6			
		48.9	50.8	73.6			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 0 1 0 3号線の舗装改良工事（205m）を実施した。
成果の 達成状況 と要因	・ 成果指標①（達成） 計画通り工事施工を行い、目標を達成した。
課 題	・ 国や県と協議し、継続して予算を確保する必要がある。 ・ 工事施工にあたっては、事前に地元周知を行う必要がる。
今後の 方向性	・ 今後も継続して国や県と協議し、必要な予算確保に取り組んでいく。 ・ 今後も継続して工事着手前に十分に地元調整に取り組んでいく。
所属長 意見(72)	計画区間の工事完了に向けて、引き続き、国・県及び地元と協議・調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成27年度 ～ 令和 8年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	6166 保福島大島新田線道路改良事業費（社交金）				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能となる。 保福島大島新田線／道路が整備される。				
事業概要 (168)	本路線は、西焼津駅から南部地域を結ぶ幹線道路であり周辺の宅地化により交通量が増加していることから、道路整備を行い、通行者の安全確保及び交差点の渋滞解消を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 道路整備に係る用地取得及び工事 （１）道路工事 （２）用地買収 （３）物件補償				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,298
トータル コスト	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,298

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事発注件数	件	0	1	1	1	1	1
		0	0	1			
	増加目標		0%	100%			
用地取得件数	件	3	1	2	2	3	1
		1	1	4			
	増加目標	33.33%	100%	200%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路整備率	%	54.5	63.6	72.7	81.8	90.9	100
		54.5	54.5	63.6			
	増加目標	100%	85.69%	87.48%			
用地取得率	%	45	50	80	100		
		38.9	44.4	66.7			
	増加目標	86.44%	88.8%	83.38%			

事後評価

実施結果 (748)	・道路整備に係る用地取得（4件）及び歩道側溝の工事（1件）を実施した。
成果の達成状況と要因	・成果指標①（未達成） 歩道側溝の工事発注を行ったが、小川島田幹線との事業調整により進捗が遅れているため、目標の整備率を達成できなかった。 ・成果指標②（未達成） 用地買収を4件行ったが、小川島田幹線との事業調整により進捗が遅れているため、目標の取得率を達成できなかった。
課題	・地権者と事前調整を行い、速やかに用地買収に応じていただく必要がある。 ・予算確保に加え、工事完了に向けて、県と小川島田幹線の工事工程と調整が必要である。
今後の方向性	・今後も継続して地権者と事前調整を行い、円滑な用地買収に取り組んでいく。 ・今後も県施行の小川島田幹線との工事工程の調整により、早期に供用開始できるよう取り組んでいく。
所属長意見(72)	早期の供用開始に向けて、引き続き、県及び地元と調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和 5年度 ~ 令和 6年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	8495 越後島元大橋線ほか道路改良事業費（社交金）（物価				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能になる。 焼津広幡線周辺道路／道路が整備され迂回路が確保される。				
事業概要 (168)	県施行の（都）焼津広幡線の4車線化事業の周辺市道については、幅員が約4mと狭く大型車両のすれ違いが困難な状況であるため、県事業と一体的に狭小な周辺市道の拡幅整備等を行い、沿線事業所などへの交通の円滑化と安全確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	道路改良に係る用地取得及び工事 （１）調査・測量 （２）工事 （３）用地買収 （４）物件補償			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	87,180
	実績	0	0	0
財源内訳	国庫	0	0	33,615
	支出金	0	0	0
	県	0	0	19,950
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	33,600
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	実績	0	0	0
	一般	0	0	15
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,274
トータル コスト	計画	0	0	87,180
	実績	0	0	1,274

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事等発注件数	件			3	1		
				3			
	増加目標			100%			
用地取得件数	件			1	2		
				0			
	増加目標			0%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路整備率	%			0	100		
				0			
	増加目標						
用地取得率	%			0			
				0			
	増加目標						

事後評価

実施結果 (748)	・ 道路整備に係る土質調査（1件）、路線測量（1件）、道路改良工事（1件）を発注した。
成果の 達成状況 と要因	・ 成果指標①（未達成） 国の補正予算での工事であり、未だ施行中のため、目標を達成できていない。 ・ 成果指標②（未達成） 国の補正予算となり、地権者と未だ交渉中のため、目標を達成できていない。
課 題	・ 地権者と信頼関係を構築し、速やかに用地取得に応じてもらう必要がある。 ・ 工事施工にあたっては、県と連携し、地元と十分に事前調整を行う必要がある。
今後の 方向性	・ 今後も継続して事業に関する地元説明会を県と合同で開催するなど、地権者と事業調整を行うよう取り組んでいく。
所属長 意見(72)	計画通り用地取得が完了するよう、県及び地権者との協議・調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和 2年度 ~ 令和 5年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	539 一般市道用地取得費				
所 属	建設部		土木管理課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	地権者及び利害関係人／円滑に用地の提供を受ける				
事業概要 (168)	事業用地の土地と支障物件の調査をし土地の価格評価と物件の移転補償金の算定を行う。算定後には地権者及び利害関係者と対価補償金について交渉し同意を求める。合意後は土地売買契約及び物件移転補償契約を行い、締結後に登記関連事務及び契約履行の確認、代金の支払い及び納税対応等を行う。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	一般市道右岸改良事業（県事業志太田中川改修事業）、市道成案寺川南線改良事業（県事業成案寺川改修事業）、市道小浜塩釜神社線（県事業高草川支川子の上沢通常砂防事業）			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	15,886
	実績	0	0	8,817
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	8,193
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	7,693
	一般 財源	0	0	8,817
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	14,631
トータル コスト	計画	0	0	15,886
	実績	0	0	23,448

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
事業個所数	件	5	5	4	7	7	
		5	5	2			
	増加目標	100%	100%	50%			
用地取得の必要がある地権者数	人	11	8	5	16	16	
		11	7	2			
	増加目標	100%	87.5%	40%			
用地取得が必要な面積	㎡	352.2	351.52	60.29	1,000	1,000	
		352.2	331.15	40.56			
	増加目標	100%	94.21%	67.27%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
用地の取得率	%	100	100	100	100	100	
		100	94.2	67.2			
	増加目標	100%	94.2%	67.2%			

事後評価

実施結果 (748)	- 市道保福島大島新田線（南側工区）の地権者から用地取得を行った。 - 新病院周辺道路整備事業の地権者から用地取得を行った。
成果の達成状況と要因	市道小浜塩釜神社線の地権者1名については未契約である。 その要因は事業に対する不同意であった。
課 題	事業に対する理解と補償契約額に対する同意を得ること。
今後の方向性	今後も継続的に事業に対して協力をいただくよう用地交渉に取り組む。
所属長 意見(72)	他課事業に関する用地買収事務が多いため、連絡を密にし、連携すること。 交渉事務に係る外部研修など積極的に参加すること。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	555 一般市道改良費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／市道が良好に保たれ安全で円滑な移動が可能になる。 一般市道／道路が整備され市民からの要望が少なくなる。				
事業概要 (168)	市民等から多くの要望が寄せられる中、生活環境の改善と道路需要の増大に対処するため、一般市道（生活道路）の道路改良工事や測量調査等を行い、安全で円滑な通行を確保する。				
手段・ 実施内容等	令和5年度 一般市道改良工事 交通の安全及び交通の円滑化を図るため、生活道路の道路改良工事を実施。 【11月補正（拡充）】 R5債務負担として、9路線の道路改良工事と1路線の路線測量業務を実施。				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	106,055
	実績	0	0	80,487
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	104,001
	実績	0	0	76,235
	一般	0	0	2,054
	財源	0	0	4,252
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	22,533
トータル コスト	計画	0	0	106,055
	実績	0	0	103,020

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事発注件数	件	12	12	12			
		19	17	18			
	増加目標	158.33%	141.67%	150%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
要望件数	件	28	27	26			
		27	20	23			
	削減目標	103.7%	135%	113.04%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 債務負担で7路線（199.66m）、当初予算で11路線（214.86m）の計18路線（414.52m）の道路改良工事を実施した。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 工事発注件数の増加により、要望件数を削減でき目標を達成した。
課 題	・ 多くの地元要望に応えるため、工事発注にあたっては、建設コストを意識し設計積算を行い、早期に発注を行う必要がある。
今後の方向性	・ 今後も継続して市道改良を推進し、地元要望に応えるよう取り組んでいく。
所属長意見(72)	生活道路は、道路拡幅や舗装などの要望が多く寄せられており、地域の実情に応じた整備を推進していく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和 4年度 ~ 令和 6年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	556 当目水門橋線道路整備事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／円滑に通行できるようになる。 当目水門橋線／道路が拡幅整備される。				
事業概要 (168)	本路線は、浜当目海岸への進入路であり、年間を通して交通量が多い路線であるが、幅員が約3.2 mと狭小であることから道路拡幅整備を行ない、通行者及び地区住民の安全で円滑な通行を確保す る。				
手段・実施 内容等	令和 5年度 道路整備工事				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	8,100
	実績	0	0	7,183
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	8,100
	計画	0	0	7,183
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	599
トータル コスト	計画	0	0	8,100
	実績	0	0	7,782

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度の改良延長	m		80	94			
			67	113			
	増加目標		83.75%	120.21%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
道路整備率＝道路整備延長累計／道路計画延長×100	%		51.9	100			
			43.5	103.4			
	増加目標		83.82%	103.4%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 浜当目海水浴場の海開き前までに道路改良工事（113m）を実施した。
成果の 達成状況 と要因	・ 成果指標①（達成） 入札差金の活用や建設発生土処分の抑制により、工事施工延長を伸ばすことができ、目標を達成できた。
課 題	・ 工事完了したため、特になし。
今後の 方向性	・ 特になし。
所属長 意見 (72)	早期発注により海開き前に工事完了させた。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	04	交通事故の起きにくい環境整備			
事務事業名	557 交通安全施設整備費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／安全で安心して道路を通行できる				
事業概要 (168)	交通量が多い箇所や交通事故が多発している箇所において交通安全施設を整備することで、交通安全確保と車両等の通行の円滑化を図る。				
手段・ 実施内容等	交通安全施設整備 ・ 転落防止柵 ・ 道路反射鏡 令和5年度				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	11,829
	実績	0	0	12,116
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	11,664
	実績	0	0	11,985
	一般	0	0	165
	財源	0	0	131
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,369
トータル コスト	計画	0	0	11,829
	実績	0	0	13,485

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
防護柵設置数	箇所	3	3	3	3	3	
		3	5	4			
	増加目標	100%	166.67%	133.33%			
道路反射鏡設置数	基	8	5	5	5	5	
		7	6	15			
	増加目標	87.5%	120%	300%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
要望に伴う設置予定箇所の進捗率	%	50	50	50	50	50	
		55.6	55	52.8			
	増加目標	111.2%	110%	105.6%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 防護柵設置工事 4 件（L＝262m）、道路反射鏡15基、道路標識 2 基の設置を行った。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 計画に基づき工事実施し、目標を達成した。
課 題	・ 要望評価により設置することとなった案件について、速やかに対応していくことが必要となる。
今後の方向性	・ 予算確保に努め、可能な範囲で速やかに現場対応していく。
所属長 意見(72)	・ 要望評価により設置することとなった案件については、予算確保を行い速やかに現場対応できるように努める必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和 5年度 ~ 令和 9年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	04	交通事故の起きにくい環境整備			
事務事業名	6207 自転車通行空間整備事業費（社交金）				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／安全で快適に通行できるようにする				
事業概要 (168)	自転車ネットワーク計画に基づき、安全で快適な自転車通行空間を効率的、効果的に整備し、通行者の安全を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	短期計画路線の整備			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	7,548
	実績	0	0	7,548
財源内訳	国庫	0	0	3,774
	支出金	0	0	3,774
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	地方債	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	3,774
	実績	0	0	3,774
	一般	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,457
トータル コスト	計画	0	0	7,548
	実績	0	0	9,005

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度の整備延長（短期計画）	m			720	690	710	
				500			
	増加目標			69.44%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
短期計画における整備率	%			23.1	45.2	67.9	
				16			
	増加目標			69.26%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 自転車通行空間 L＝500mの整備を行った。
成果の 達成状況 と要因	・ 成果指標①（未達成） 国費の内示額が要求に満たなかったため、施工延長が計画延長に満たず未達成となった。
課 題	・ 事業効果の検証方法について、検討の必要がある。
今後の 方向性	・ 国や県と連携しながら、事業進捗を図っていく。 ・ 事業効果の検証方法について検討し、検証を実施していく。
所属長 意見 (72)	・ 国や県と連携しながら事業進捗を図り、今後の整備を実施していく必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	□	事業期間	平成27年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	04	交通事故の起きにくい環境整備			
事務事業名	6220 通学路交通安全対策事業費（社交金）				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	児童／交通事故に遭わないようにする 通学路／危険箇所の交通安全対策を実施する				
事業概要 (168)	「焼津市通学路等交通安全プログラム」に基づき、学校関係者や交通管理者、道路管理者などと合同で通学路等の点検を行い、対策が必要と判断された箇所について交通安全施設整備工事を実施し、児童等の通行の安全を図る。				
手段・ 実施内容等	令和5年度 通学路交通安全施設整備工事				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	7,000
	実績	0	0	7,000
財源内訳	国庫	0	0	3,850
	支出金	0	0	3,850
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	2,800
	計画	0	0	2,800
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	350
	実績	0	0	350
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,199
トータル コスト	計画	0	0	7,000
	実績	0	0	8,199

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
防護柵・歩行帯設置延長	m	53	70	200			
		62	52	223			
	増加目標	116.98%	74.29%	111.5%			
交差点安全対策箇所数	箇所	1	0	2			
		1	0	2			
	増加目標	100%		100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
児童・生徒事故件数	件	120	110	110	110	110	
		92	86	123			
	削減目標	130.43%	127.91%	89.43%			
通学路対策実施率	%	70	75	75	75	75	
		84	87.5	90.2			
	増加目標	120%	116.67%	120.27%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 防護柵設置工事 L＝223mを行った。
成果の 達成状況 と要因	成果指標①（達成） 計画に基づき工事実施し、目標を達成した。
課 題	・ 通学路の安全対策については、ハード対策、ソフト対策の両面による対策を図っていく必要がある。
今後の 方向性	・ 学校関係者、交通管理者等の各関係機関と連携を図りながら、ハード対策、ソフト対策の両面から通学路の安全対策を実施していく。
所属長 意見(72)	・ 各関係機関と連携を図りながら、より良い通学路の安全対策を図っていく必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和元年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	6177 県営道路整備事業負担金				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・道路新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能になる。 対象県道／道路が整備される。				
事業概要 (168)	静岡県建設事業等市町負担金徴収条例に基づき、県施行による焼津榛原線道路整備事業に係る事業費を一部負担し事業の促進を図るものです。				
手段・ 実施 内容等	県営道路整備事業に係る事業負担金 (１) 焼津榛原線 令和 5年度				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	0
	実績	0	0	41
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般	0	0	0
	財源	0	0	41
	人件費	0	0	0
	実績	0	0	298
トータル コスト	計画	0	0	0
	実績	0	0	339

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
事業費負担路線	路線	1	1	1			
		0	1	0			
	その他	0%	100%	0%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
事業費負担路線の交付金事業化	路線	0	0	1			
		0	0	1			
	その他	0%	0%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 県への要望活動等により主要地方道 焼津榛原線道路整備事業（吉永工区）が交付金事業に移行されたことから、負担金の支払いはなかった。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 事業が県単独事業から交付金事業に格上げされたことから市負担金はなくなり、目標は達成した。
課 題	・ 県に整備促進を働きかける必要がある。
今後の方向性	・ 用地取得事務を市で受託し、地元調整を行いながら、早期に用地取得に取り組んでいく。
所属長意見(72)	早期の工事着手に向けて、引き続き、県及び地元と協議・調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成 6年度 ~ 令和 8年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	6172 橋梁耐震補強事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・橋りょう維持費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる。				
事務事業 対象/意図	市民／震災時における緊急避難路が確保される。 耐震補強対策橋梁／橋梁が耐震化される。				
事業概要 (168)	津波浸水区域内の橋梁の耐震化を行い、緊急時の安心・安全な避難路の確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	橋梁耐震補強工事 1 橋 橋梁耐震補強設計 1 橋			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	10,300
	実績	0	0	10,300
財源内訳	国庫	0	0	5,150
	支出金	0	0	5,150
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	4,600
	計画	0	0	4,600
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	550
	実績	0	0	550
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,182
トータル コスト	計画	0	0	10,300
	実績	0	0	11,482

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度の耐震補強整備橋梁数	橋	1	1	1			
		1	1	1			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
耐震補強整備率	%	70.5	71.3	72.1			
		70.5	71.3	72.1			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 準用河川 一色横須賀川に架かる橋梁の耐震補強工事（１件）及び普通河川に架かる橋梁の耐震補強設計業務（１件）を実施した。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 計画どおり耐震補強工事を行い、目標を達成できた。
課 題	・ 避難経路を確保するため、優先順位をつけて耐震補強を推進する必要がある。
今後の方向性	・ 今後も継続して橋梁耐震補強の推進に取り組んでいく。
所属長意見(72)	今後も継続的に避難を確保する橋梁について、優先順位をつけて取り組む必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	561 橋梁改良整備費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・橋りょう新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／円滑な移動が可能になる。 橋梁／耐震化が図れる。				
事業概要 (168)	主要幹線市道に架かる橋梁について、災害時の避難路並びに緊急輸送路の確保を図るため、計画的に順次架替えや耐震補強整備を行なう。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 橋梁整備に係る設計・工事 （１）橋梁耐震補強設計 １ 橋 （２）橋梁耐震補強工事 １ 橋				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	100
	実績	0	0	51
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	100
	実績	0	0	51
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	16
トータル コスト	計画	0	0	100
	実績	0	0	67

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度の耐震補強整備橋梁数	橋	1	1	1			
		1	1	1			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
耐震補強整備率	%	70.5	71.3	72.1			
		70.5	71.3	72.1			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 準用河川 一色横須賀川に架かる橋梁の耐震補強工事（１件）及び普通河川に架かる橋梁の耐震補強設計業務（１件）を実施した。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 計画どおり耐震補強工事を行い、目標を達成できた。
課 題	・ 避難経路を確保するため、優先順位をつけて耐震補強を推進する必要がある。
今後の方向性	・ 今後も継続して橋梁耐震補強の推進に取り組んでいく。
所属長意見(72)	今後も継続的に避難を確保する橋梁について、優先順位をつけて取り組み必要がある。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成 6年度 ~ 令和 6年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	562 主要橋梁耐震補強事業費				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・道路橋りょう費・橋りょう新設改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／緊急輸送路が確保され円滑な移動が可能になる。 耐震補強対策橋梁数／橋梁が整備される。				
事業概要 (168)	緊急輸送路に架かる主要橋梁の耐震化を行い、緊急時における安心・安全な道路交通網の確保を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 橋梁耐震補強工事 1 橋				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	15,000
	実績	0	0	13,167
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	5,000
	支出金	0	0	4,389
	地方債	0	0	10,000
	実績	0	0	8,700
	その他	0	0	0
	実績	0	0	0
	一般	0	0	0
	財源	0	0	78
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	992
トータル コスト	計画	0	0	15,000
	実績	0	0	14,159

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度の耐震補強整備橋梁数	橋	1	1	1			
		1	1	1			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
耐震補強整備率	%	90.9	95.5	97.7			
		90.9	95.5	97.7			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 準用河川 石脇川に架かる橋梁の耐震補強工事（1件）を実施した。
成果の 達成状況 と要因	・ 成果指標①（達成） 計画どおり工事発注し、耐震補強工事を完成させ、目標を達成できた。
課 題	・ 成案寺橋については、（二）成案寺川の河川改修に合わせて計画していく必要がある。
今後の 方向性	・ 緊急輸送路に係る橋梁の耐震補強が完了したため、引き続き、主要な道路などに架かる橋梁の耐震補強に取り組んでいく。
所属長 意見(72)	緊急輸送路にかかる橋梁の耐震補強について完了させることができた。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	02	治水対策の整備			
事務事業名	571 都市小河川改修事業費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・水路改良費				
施策が目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業対象/意図	市民/治水に対し安心感を持つ				
事業概要 (168)	気候変動の影響による降雨の増大と、水害の激甚化・頻発化に備えるため、小河川の改良を行い、治水安全度の向上を図る他、自治会からの要望に対して、要望評価を行い、優先度の高い小河川を改良し、環境改善を図る。また、自治会要望による原材料の支給及び市施工の工事用原材料を購入し、小河川の整備促進を図る。				
手段・実施内容等	令和5年度	小河川の改良及び環境改善、地元要望による原材料の支給及び市施工の工事用原材料の購入 (1) 水路改良 (2) 原材料購入 (3) 一般事務費 気候変動の影響による降雨の増大に対して、小河川の改良を行い、治水安全度の向上を図る。また、自治会からの要望に対して、優先度の高い小河川の改良を行い、環境改善を図る。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	42,244
	実績	0	0	42,179
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	42,001
	実績	0	0	41,937
	その他	0	0	243
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	10,078
トータルコスト	計画	0	0	42,244
	実績	0	0	52,257

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事実施件数	件	7	7	7	7	7	
		8	14	17			
	増加目標	114.29%	200%	242.86%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事実施率	%	100	100	100	100	100	
		114	200	242.86			
	増加目標	114%	200%	242.86%			

事後評価

実施結果 (748)	・水路改良工事17件を実施した。 主な内容は以下のとおりである。 工 事 名 令和4年度 三ヶ名五ヶ道南二号線北側水路改良工事（債務負担） 施工箇所 三ヶ名地内 施工概要 施工延長L=61m、水路工L=61m 工 事 費 5,500,000円 工 事 名 令和5年度 0103号線南側水路改良工事 施工箇所 上泉地内 施工概要 施工延長L=107m、水路工L=107m 工 事 費 5,830,000円 工 事 名 令和5年度 小屋敷発杭一号線水路改良工事 施工箇所 小屋敷地内 施工概要 施工延長L=39m、水路工L=39m、舗装工A=27m2 工 事 費 4,829,000円
成果の 達成状況 と要因	・工事7件を目標とした中で、17件の工事を実施し、工事実施率は目標を大きく上回ることができた
課 題	近年の度重なる豪雨や被害により、市民の治水に対する関心が強くなっていることから、より効果的な業務の遂行が必要となっている。
今後の 方向性	引き続き、要望評価を行い、効率的で効果的な整備を進めていき、工事費においてはコスト縮減に積極的に取り組み、多くの市民ニーズに応えていきたい。
所属長 意見(72)	地域の安全・安心の確保に向けて、引き続き、積極的に治水対策に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	02	治水対策の整備			
事務事業名	572 河川計画事務費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・水路改良費				
施策が 目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	河川海岸施設/整備事業の促進が図られる				
事業概要 (168)	河川海岸施設整備事業の促進のため、国や県に要望活動を実施し、早期完成を目指す。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	河川海岸施設の整備促進 （１）協議会等への参画 （２）国等への要望活動 （３）一般事務費 河川海岸施設整備事業の促進に向けて、国等へ要望活動を実施する。			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	1,464
	実績	0	0	1,217
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	0
	計画	0	0	1,464
	実績	0	0	1,217
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,056
トータル コスト	計画	0	0	1,464
	実績	0	0	2,273

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
当該年度要望数（海岸）	海岸	2	2	2	2	2	
		2	2	2			
	増加目標	100%	100%	100%			
当該年度要望数（河川）	河川	12	12	12	12	12	
		12	12	12			
	増加目標	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
要望採択数（海岸）	海岸	2	2	2	2	2	
		2	2	2			
	増加目標	100%	100%	100%			
要望採択数（河川）	河川	12	12	12	12	12	
		12	12	12			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・河川、海岸整備促進等の協議会（9団体）の活動に参画し、国等への要望活動などを実施した。 （海岸）全国海岸協会、西駿河湾海岸防潮堤促進期成同盟会、焼津海岸整備促進協議会 （河川）静岡県河川協会、瀬戸川水系改修期成同盟会、析山川水系改修促進協議会 大井川改修促進期成同盟会、志太田中川・泉川改修促進協議会 （砂防）全国治水砂防協会静岡支部 ・河川、海岸整備促進等の協議会（8団体）の会費等負担金を支出した。 （海岸）全国海岸協会、西駿河湾海岸防潮堤促進期成同盟会、焼津海岸整備促進協議会 （河川）静岡県河川協会、瀬戸川水系改修期成同盟会、析山川水系改修促進協議会 大井川改修促進期成同盟会 （砂防）全国治水砂防協会静岡支部
成果の 達成状況 と要因	・成果指標①(達成) 要望活動を実施し海岸施設整備予算が付けられた。 ・成果指標②(達成) 要望活動を実施し河川施設整備予算が付けられた。
課 題	・河川海岸施設整備事業を促進させ早期完成を目指すことが必要。
今後の 方向性	・継続して国等への要望活動を実施する。
所属長 意見(72)	事業促進にあたり、要望活動は効果的な手段であることから、引き続き、積極的に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成27年度 ～ 令和 7年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	575 潮風グリーンウォーク整備事業費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・水路改良費				
施策が 目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民/安全安心に暮らせる				
事業概要 (168)	「焼津市津波防災地域づくり推進計画」「焼津市地震・津波対策アクションプログラム2014」の着 実な推進のため、海岸堤防の陸側に高盛土を行い、レベル1以上の津波に対し、被害の軽減を図る 。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	津波対策施設の整備 レベル1以上の津波に対して、海岸堤防の陸側に高盛土を行い、津波対策を行うことで、市民が安 心して生活できるまちづくりを目指す。 《拡充》盛土工事 L=150m			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	70,092
	実績	0	0	27,930
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	70,000
		0	0	27,600
	その他	0	0	0
		0	0	0
	一般	0	0	92
	財源	0	0	330
人件費	計画	0	0	9,228
	実績	0	0	8,555
トータル コスト	計画	0	0	79,320
	実績	0	0	36,485

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事施工延長	k m	3.2	0	0.15	0.23	0.22	
		3.2	0	0			
	増加目標	100%		0%			
吉永放水路区間の県協議	回			4			
				4			
	増加目標			100%			
要望活動（大井川工区・都市公園）	回			1			
				1			
	増加目標			100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
施設の整備率	%	90	90	92	95	100	
		90	90	90			
	増加目標	100%	100%	97.83%			

事後評価

実施結果 (748)	・盛土工事L=100mを工事発注したが、事業用地の取得等に不測の日数を要し、年度内の完成が見込めなくなったため、事業を繰越した。
成果の達成状況と要因	・施設の整備率については、工事発注後、事業用地の取得等に不測の日数を要し、年度内の完了が見込めなくなったため、目標を達成できなかったが、令和6年6月に完成した。
課 題	本事業の事業期間は、令和7年度までであるが、他課が施行する海岸堤防の改良や植栽工事と密接な関係があるため、事業期間内に完了するには、3者が連携して事業に取り組む必要がある。
今後の方向性	関係課と工程調整や進捗管理などを密に行い、事業の状況を情報共有していく中で、事業期間内の完了を目指していく。
所属長意見(72)	令和7年度の完成を目途に、引き続き、関係機関と調整を図りながら事業を進めていく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	□	事業期間	令和 4年度 ～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	02	治水対策の整備			
事務事業名	576 流域治水プロジェクト事業費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・水路改良費				
施策が 目指す姿	市民・事業者が社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民/治水に対し安心感を持つ				
事業概要 (168)	近年の気候変動の影響による降雨の増大と、水害の激甚化・頻発化に備えるため、流域全体のあらゆる関係者が主体的に取り組む「流域治水」の推進に向けて、各水系毎で策定した「流域治水プロジェクト」に基づく、河川整備や排水機場の改良等の流域治水対策を計画的に実施し治水安全度の向上を図る。				
手段・ 実施 内容等	令和 5年度	治水対策への取組み （１）雨水流出抑制対策施設の整備 （２）排水機場の改良 （３）準用河川の護岸嵩上げ （４）バイパス水路の整備 気候変動の影響による降雨の増大に対して、河道整備や雨水流出抑制対策等の検討などを行い、治水安全度の向上を図る。 《拡充》（準）小石川遊水地の整備（測量・設計 A=4,500㎡） 《拡充》（準）泓の川の改修（地元説明会） 《拡充》雨水貯留浸透施設の補助金（20件）			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	30,261
	実績	0	0	29,403
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	計画	0	0	30,200
	実績	0	0	29,400
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	61
人件費	計画	0	0	5,138
	実績	0	0	17,960
トータル コスト	計画	0	0	35,399
	実績	0	0	47,363

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
工事实施件数	件		5	2	5	3	
			4	2			
	増加目標		80%	100%			
業務委託実施件数	件		2	2	0	0	
			1	3			
	増加目標		50%	150%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
治水安全度が向上した面積	ヘクタール		6.6	7.3	170.2	253.7	
			5.7	5.4			
	増加目標		86.36%	73.97%			
	%						

事後評価

実施結果 (748)	・ 雨水流出抑制対策施設の整備にかかる検討業務2件、測量設計業務1件を実施した。 主な内容は以下のとおりである。 委託名 令和4年度 栃山川水系流域治水対策検討業務委託（債務負担） 履行箇所 石津地内ほか 委託概要 流域治水検討業務一式 委託料 7,700,000円 ・ 令和5年度（準）小石川遊水地測量設計業務委託 履行箇所 小屋敷地内 委託概要 測量設計業務A=4,500m² 委託料 9,647,000円 ・ 準用河川の護岸嵩上げ2件を実施した。 主な内容は以下のとおりである。 工事名 令和5年度（準）栄田川護岸嵩上工事 工事箇所 田尻北地内 工事概要 施工延長L=39m、護岸嵩上工L=78m、舗装工A=75m² 工事費 7,040,000円
成果の達成状況と要因	治水安全度が向上した面積は増えてはいるが、事業計画の見直しを行ったため、目標を達成できなかった。
課題	気候変動による降雨の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、「流域治水」を計画的に推進する必要がある。
今後の方向性	流域全体で治水対策に取り組む必要があるため、公共施設を活用した雨水貯留施設整備などの雨水流出抑制対策を実践していく。
所属長意見(72)	地域の安全・安心の確保に向けて、関係機関と連携を図りながら積極的に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	令和 5年度 ~ 令和10年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	02	治水対策の整備			
事務事業名	5943 準用河川等津波対策事業費				
所 属	建設部		河川課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・河川費・水路改良費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	津波対策水門/整備される				
事業概要 (168)	海岸線における地震・津波対策として国と連携して進めている「潮風グリーンウォーク」、大井川港内における地震・津波対策として「大井川港胸壁整備」に併せ、準用河川及び普通河川の河口部に津波対策を実施する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	津波対策施設の整備（河道計画資料作成）			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	6,006
	実績	0	0	5,984
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	計画	0	0	0
	実績	0	0	0
	その他	0	0	6,006
	計画	0	0	5,984
	実績	0	0	0
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	1,814
トータル コスト	計画	0	0	6,006
	実績	0	0	7,798

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
河川津波対策施設に関する業務数	件			1	1	0	
				1			
	増加目標			100%			
河川津波対策施設数	箇所						
	増加目標						

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
津波対策整備率	%			0.4	5.1	16.4	
				0.4			
	増加目標			100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 藤守川河道計画検討業務委託により、津波対策施設の整備計画を検討した。 委託名 令和4年度 藤守川河道計画検討業務委託（債務負担） 履行箇所 藤守地内 委託概要 河川の河道計画の検討 委託料 5,984,000円
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成）津波対策整備にかかる計画策定をするために、河道計画資料を作成した。
課題	・ 津波対策について、費用対効果を含めた工法比較検討が必要である。
今後の方向性	・ 津波対策について、費用対効果の検証を進める。
所属長意見(72)	津波対策の強化に向けて、「焼津市津波防災地域づくり推進計画」に基づき、計画的に取り組んでいく。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	～
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	03	幹線道路及び生活道路の整備			
事務事業名	564 県営街路整備事業負担金				
所 属	建設部		道路課		
会 計	一般会計				
科 目	土木費・都市計画費・街路事業費				
施策が 目指す姿	社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	市民／安全で円滑な移動が可能になる。 対象都市計画街路／道路が整備される。				
事業概要 (168)	静岡県建設事業等市町負担金徴収条例に基づき、県施行による志太東幹線街路整備事業及び焼津広幡線街路整備事業に係る事業費を負担金を一部負担し事業の促進を図る。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度 (１) 県営街路整備事業に係る事業負担金（焼津広幡線・志太東幹線） (２) 県街路事業促進協議会への参画				

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	142,479
	実績	0	0	142,051
財源内訳	国庫	0	0	0
	支出金	0	0	0
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	105,500
		0	0	102,600
	その他	0	0	36,910
		0	0	39,383
	一般	0	0	69
	財源	0	0	68
人件費	計画	0	0	0
	実績	0	0	440
トータル コスト	計画	0	0	142,479
	実績	0	0	142,491

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
事業費負担路線	路線	2	2	2			
		2	2	2			
	その他	100%	100%	100%			
協議会への参加回数	回	1	1	1			
		1	1	1			
	その他	100%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
事業費負担路線の整備率	%	40	61	71			
		40	61	71			
	増加目標	100%	100%	100%			
要望箇所数	箇所	2	2	2			
		2	2	2			
	増加目標	100%	100%	100%			

事後評価

実施結果 (748)	・ 県が焼津広幡線及び志太東幹線の道路整備を実施し「静岡県建設事業負担金徴収条例第2条」に基づき、事業負担金を支払った。 ・ 街路事業促進協議会の活動（会議・総会等）に参画した。
成果の達成状況と要因	・ 成果指標①（達成） 予定どおり事業進捗し、目標を達成した。 ・ 成果指標②（達成） 焼津広幡線及び志太東幹線の整備促進について県に要望し、目標を達成した。
課 題	・ 焼津広幡線及び志太東幹線の整備促進について、県に地元の意向を伝え、積極的に働きかける必要がある。 ・ 事業スケジュールについて、地元調整する必要がある。
今後の方向性	・ 焼津広幡線及び志太東幹線の早期完成に向けて、今後も継続して県に整備促進及び地元調整について働きかけるよう取り組んでいく。
所属長 意見(72)	・ 焼津広幡線の早期供用開始及び志太東幹線の事業完了に向けて、引き続き、県への要望及び地元調整を要する。

令和5年度 事務事業評価書

事業概要

経費分類	政策	事業完了	☐	事業期間	平成24年度 ～ 令和 6年度
政 策	05	安全安心で快適に暮らせるまちづくり			
施 策	02	暮らしを守り支える社会基盤の充実			
基本事業	01	防災インフラの整備			
事務事業名	600 国庫補助大井川防災広場整備事業費（社交金）				
所 属	都市政策部		都市整備課		
会 計	一般会計				
科 目	消防費・消防費・災害対策費				
施策が 目指す姿	市民・事業者/社会基盤の充実により安心して生活や経済活動ができる				
事務事業 対象/意図	南海トラフ巨大地震の津波浸水想定区域内の市民・事業者/災害発生時の一時避難所が確保されるとともに、被災者への支援体制の向上が図られる				
事業概要 (168)	本事業計画地周辺には市役所大井川庁舎などの公共公益施設が立地し、また航空自衛隊静浜基地や東名高速道路の大井川焼津藤枝ICからも至近にあることから、これらの施設及び広域交通拠点と連携し、地震・津波発生時における救助・救護活動の拠点及び復旧・復興時の応急仮設住宅建設用地として活用する等、防災体制の向上を図る目的で約14haの防災広場を整備する。				
手段・ 実施内容等	令和 5年度	大井川防災広場の整備 （１）国庫補助事業による大井川防災広場の整備 （２）整備済み箇所を含めた計画地の維持管理			

事業費内訳

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費	計画	0	0	56,406
	実績	0	0	56,325
財源内訳	国庫	0	0	21,720
	支出金	0	0	21,720
	県	0	0	0
	支出金	0	0	0
	地方債	0	0	19,500
	計画	0	0	19,500
	実績	0	0	2,400
	その他	0	0	2,241
	計画	0	0	12,786
	実績	0	0	12,864
人件費	計画	0	0	1,601
	実績	0	0	5,401
トータル コスト	計画	0	0	58,007
	実績	0	0	61,726

活動指標

活動指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
広場施設整備面積	ha	0.4	0.6	0.5	0.5	0	
		0.7	0.6	0.5			
	増加目標	175%	100%	100%			

成果指標

成果指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		計画	計画	計画	計画	計画	計画
	達成率	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	区分	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
広場の造成状況	%	81.4	81.4	81.4	81.4		
		81.4	81.4	81.4			
	増加目標	100%	100%	100%			
広場の施設整備状況	%	62.5	64	66.5	69.2		
		62.5	63.8	65.1			
	増加目標	100%	99.69%	97.89%			

事後評価

実施結果 (748)	・国庫補助事業としてグラウンド舗装工、排水施設工等の施設整備A=0.5haを実施した。また、市単独事業として計画予定地の維持管理を実施した。
成果の達成状況と要因	・成果目標②広場の施設整備状況は順調に伸びているが、国庫補助金の内示率に左右される。
課題	・公園や運動用広場としての利活用の要望が大きく、国庫補助事業以外の施設整備の財源確保が課題となっている。 ・部分的に供用を開始しているが、利用者が少ない。 ・また、敷地面積が広大なため、整備の如何に関わらず、維持管理費の確保が課題である。
今後の方向性	・国庫補助事業を活用し、着実に整備進捗を図る。 ・多くの市民に広場を知ってもらうため、民間事業者にも利活用を募集するなど検討を進める。 ・職員による草刈作業を試験的に行うなど維持管理費の縮減を検討する。
所属長意見(72)	ゾーン①②のオープンスペースが確保できており、引き続きゾーン①②の完成に向け駐車場や防災パーゴラ等の整備を進める。